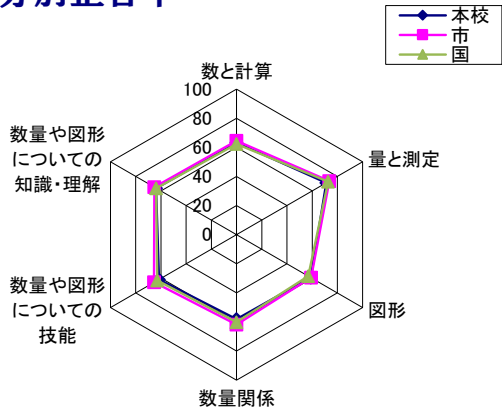


宇都宮市立宝木小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

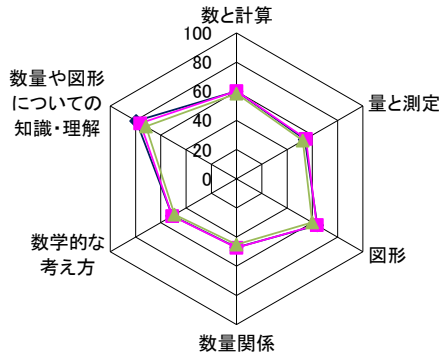
【算数A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と計算	63.3	64.5	62.3
	量と測定	71.2	73.6	72.7
	図形	59.0	59.1	56.9
	数量関係	58.1	61.8	60.1
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方			
	数量や図形についての技能	61.6	65.5	63.0
	数量や図形についての知識・理解	63.9	65.3	63.8



【算数B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と計算	60.1	60.2	58.4
	量と測定	54.0	55.0	52.4
	図形	63.9	63.5	59.9
	数量関係	47.1	47.3	45.1
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方	50.8	51.0	49.2
	数量や図形についての技能			
	数量や図形についての知識・理解	79.4	76.2	71.7



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	平均正答率は、A・B問題とも全国の平均と比べてやや高い。 ○A問題では、数量の関係を数直線に表す問題の平均正答率は全国の平均を上回っている。 ○B問題では、分配法則の式に変換する問題の正答率は、全国の平均をやや上回っている。 ●A問題では、小数の除法の意味の問題、3桁の整数の大小を比較する問題の正答率は、全国の平均を下回っている。 ●B問題では、示された情報をもとに条件に合う時間を求める問題の正答率が、全国の平均を下回っている。	・一つの式をもとに数パターンの問題を作る機会を設ける。 ・3桁の整数などの大きな数を比べる際、条件を提示し、その条件を満たす数を見つける経験を積ませる。 ・3つ以上の条件を提示し、その条件を整理し、計算する経験を積ませたい。
量と測定	平均正答率は、A問題は全国の平均と比べてやや低く、B問題はやや高い。 ○A問題では、混み具合を比べる式の意味を判断する問題、180°の角の大きさを見つける問題の正答率は、全国の平均をやや上回っている。 ○B問題では、条件を満たす根拠を説明する問題の正答率は、全国の平均をやや上回っている。 ●A問題では、混み具合を求める問題、分度器を用いて180°よりも大きい角度を求める問題の正答率は、全国の平均をやや下回っている。	・混み具合を比べる際には、計算をする前に表をもとに分かることがないかを考えさせる時間を必ず取ったり、答えを予想をさせたりする経験を積ませる。 ・角度を測る学習に加えて、提示された角度を図で表す学習を行う。
図形	平均正答率は、A・B問題とも全国の平均正答率よりやや高い。 ○A問題では、空間にあるものの位置を表現する問題、円周率を求める問題の正答率が、全国の平均をやや上回っている。 ○B問題では、条件に合う図形を見つける問題の正答率が、全国の平均をやや上回っている。 ●B問題では、集まった角の大きさの和が360°になっていることを記述する設問では、全国平均を上回っているものの、正答率が48.2%と課題が見られる。	・記述することに課題が見られるので、解答だけでなくどうしてそう考えたのかを書いたり説明したりする機会を多く設けたり、条件を示すことでどう書くのかを分かりやすく示したりすることで、記述することに慣れさせていく。

数量関係	平均正答率は、A問題は全国の平均と比べてやや低く、B問題はやや高い。 ○A問題では、1に当たる大きさを求める問題の正答率は、全国の平均をやや上回っている。 ○B問題では、示された考え方を整理して求める問題、棒グラフと帯グラフを読み取る問題の正答率は、全国の平均を上回っている。 ●A問題では、百分率を求める問題の正答率は、全国の平均と比べて低い。また、折れ線グラフを読み取る問題の正答率が、全国の平均をやや下回っている。 ●B問題では、情報とグラフを関連付けて求める問題の正答率は、全国の平均をやや下回っている。	・百分率への関心を高めるために、日常生活における数値を百分率で表す機会を定期的に設ける。 ・グラフを読み取る際、条件に合うグラフを見つけるだけでなく、変化の具合や分かることを文章で表現させたり、友達と伝え合って様々な考えを理解したりする機会を設ける。
------	---	---